

石狩西部広域水道企業団水道事業ビジョン 目標達成状況の評価等（令和6年度実績）

1 持続

理想像	経営環境の変化に対応し、長期的に安定した水を供給できる水道
-----	-------------------------------

【方針(1)-①】 「修繕・更新等計画」に基づいた施設・設備の更新

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①修繕・更新	・当別浄水場の活性炭ろ過池整備修繕やフロキュレータ整備修繕など、計画どおりに実施した。
②点検	・総延長54.4kmの管路のうち8.2kmの点検を計画し、予定通り実施した。 ・総設置数271基のバルブのうち、116基について計画点検を実施した。 ・機械・電気・計装機器について、総数676台のうち398台の点検を計画し、予定どおりに実施した。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度実績	目標達成状況
B108	管路点検率	運転管理上の計画、「修繕・更新等計画」等に基づき確実に実施	15.1%	計画どおり進捗
B109	バルブ点検率		42.8%	計画どおり進捗
B117	設備点検実施率		58.9%	計画どおり進捗
B201	浄水場事故割合	0 [件/10年・箇所] を維持	0 [件/10年・箇所]	計画どおり進捗
B204	管路の事故割合	0 [件/100km] を維持	0 [件/100km]	計画どおり進捗

【方針(1)-②】 「経営戦略」による経営基盤の強化

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
「経営戦略」	・平成31年1月に経営戦略を策定済み。 ・経営戦略に基づき計画的かつ合理的な企業団経営を行った。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
—	「経営戦略」策定	策定済	策定済	目標達成

【方針(1)-③】 業務における経費節減努力

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①事務における経費節減	・事務においては、両面印刷・裏面印刷の実施、不要な照明の消灯の徹底、クールビズ・ウォームビズの励行などにより、経費節減に取り組んだ。
②水道施設の運転管理における経費節減	・原水水質の良好なゲートから取水し、浄水処理実績に基づいた適切な薬品使用量を調整し、過剰注入にならないよう薬品費の節減に努めている。 ・使用電力の大きい機器を同時起動させないことで最大需要電力が増加しないよう調整し、電気料金の節減を図っている。 ・第2期浄水処理施設新設工事において発生した土砂を埋戻しに利用することで、運搬費の削減を図った。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
B301	配水量1m ³ 当たり 電力消費量	0.55[kWh/m ³]以下	0.18[kWh/m ³]	計画どおり進捗
B302	配水量1m ³ 当たり 消費エネルギー	1.98 [MJ/m ³]以下	0.76[MJ/m ³]	計画どおり進捗
B305	浄水発生土の有 効利用率	100%	100%	計画どおり進捗

【方針(1)-④】 環境への配慮

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地方公共団体実行計画」の推進による温室効果ガス排出量の削減	・実行計画に基づき、パソコン等の省電力機能の有効活用やエコドライブ等の環境への配慮行動を実践した。
②浄水発生土の有効利用	・浄水発生土の有効利用により、廃棄物の削減効果が得られた。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
—	地方公共団体実行計画(地球温暖化対策実行計画)策定	策定済	策定済	目標達成
B305	浄水発生土の有効利用率 (再掲)	100%	100%	計画どおり進捗

【方針(1)-⑤】 組織体制の確保と強化

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①組織体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度における構成団体との協議の結果、令和7年度は、電気・機械関係の初期トラブルへの対応のため、工事系の電気職1名・機械職1名を施設係に配置することとしている。
②各種研修への参加	<ul style="list-style-type: none"> 新任者研修や危機対応訓練などを実施したほか、一部の職員においては、業務に必要な知識・技術の習得を目的として外部研修へも参加した。 内部研修は、第2期創設事業の年度内完了を優先させた結果、計画どおりの研修時間を確保できなかった。今後は職員構成に応じた内部研修を適切に実施するなど、目標達成に努めていく。
③民間事業者の活用	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度～令和8年度の水道施設運転管理業務について、競争性を導入したプロポーザル方式により令和3年度に業者を選定し契約しており、受託者は技術力を発揮し業務を遂行した。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指 標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
C203	内部研修時間	10[時間/人]以上	9.6[時間/人]	未達成

2 安全

理想像	安全で安心、そしておいしい水をいつでも供給できる水道
-----	----------------------------

【方針(2)-①】 適切な水源の監視

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①上流調査の実施	・当別ダム上流域の当別川において、不法投棄の確認や、採水による水質分析を行う等、定期的な水源水質の状況把握に努めている。
②注意喚起	・関係機関との連絡会議等において、水源上流の水質汚染防止に向けた注意喚起や協力依頼を行った。
③水源の水質検査	・令和6年度水質検査計画に基づき当別ダム及び上流河川において定期的に水質調査を実施するとともに、関係機関と水質に関する情報を共有するなど連携して水源の監視を行った。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度実績	目標達成状況
—	上流域の状況確認 (関係機関への照会)	1 [回/年]	1 [回/年]	計画どおり進捗

【方針(2)-②】 状況に応じた水質検査の実施

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①水質検査の実施	・令和6年度水質検査計画に沿って、水質基準項目、水質管理目標設定項目、及び独自項目について、当該計画に定める検査項目及び頻度のとおり、水質検査を実施した。
②水質検査計画及び水質検査結果の公表	・令和5年2月に令和6年度水質検査計画を策定し、当企業団のホームページにおいて公表した。 ・水質検査の結果について、毎月、当企業団のホームページにおいて公表した。
③水質検査受託者の業務実施状況確認等	・水質検査は、毎日検査を除いて厚生労働大臣の登録を受けた機関に委託していることから、受託者の業務実施状況を確認するため、採水への立会い及び日常業務確認調査を1回ずつ実施した。 ・精度管理(内部・外部)の実施結果を提出させ、必要な精度を有していることを確認した。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
A201	原水水質監視度	60項目	60項目	計画どおり進捗
—	採水への立会い回数	1 [回/年]以上	1 [回/年]	計画どおり進捗
—	日常業務確認調査回数	1 [回/年]	1 [回/年]	計画どおり進捗

【方針(2)-③】 安全かつ効率的な浄水処理の検討・実施

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①各浄水過程における調査・検証	<ul style="list-style-type: none"> 適切な浄水処理を行うための知見を得るため、取水ゲート毎の水質調査、粒状活性炭の性状調査、及びダム湖水中のピコプランクトン数の動向調査を実施した。 2池の粒状活性炭ろ過池を対象として、サンプル採取した粒状活性炭に再生処理を施し、処理前後の吸着性能について比較調査したところ、新炭布設時の90%程度まで回復していることが確認できた。
②「水安全計画」の運用	<ul style="list-style-type: none"> 水安全計画の規定に基づき、当該計画の妥当性の確認や実施状況の検証のためのレビューを実施した。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
—	ピコプランクトン調査	完了	12[回/年]	計画どおり進捗
—	取水ゲート切替調査	完了	19[回/年]	計画どおり進捗
—	粒状活性炭性状調査	1回/年	1[回/年]	計画どおり進捗
—	水安全計画のレビュー	1回/年の実施	1[回/年]	計画どおり進捗
—	水質基準不適合率	0%を維持	0%	計画どおり進捗

3 強靱

理想像	危機管理が徹底された災害に強い水道
-----	-------------------

【方針(3)-①】 「水道施設耐震化等計画」に基づいた地震対策

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①施設の耐震化	<ul style="list-style-type: none"> 第2期浄水処理施設及び札幌ポンプ場・分水施設について、レベル1地震動に対し耐震性能1を、レベル2地震動に対し耐震性能2を確保している。また、5号送水管新設工事においても、耐震管を採用し耐震性能を確保している。 平成30年に発生した北海道胆振東部地震において、導・送水管路に付属している空気弁のフランジ部より漏水が発生したことから、耐震適合率の向上に寄与するものではないが、フランジ部（全128箇所中補強未実施であった37箇所）の補強を実施し、令和3年度までに完了している。
②地震時の対応	令和6年度は、水道施設に影響を及ぼす地震の発生はなかった。

○目標の達成状況

目 標		令和6年度の目標達成状況		
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
B606-2	基幹管路の耐震適合率	83.0%	83.0%	計画どおり進捗
B602	浄水施設の耐震化率	100%を維持 (今後の整備分を含む)	100%	計画どおり進捗
B201	浄水場事故割合 (再掲)	0 [件/10年・箇所] を維持	0 [件/10年・箇所]	計画どおり進捗
B204	管路の事故割合 (再掲)	0 [件/100km] を維持	0 [件/100km]	計画どおり進捗

【方針(3)-②】 危機管理対応マニュアルの拡充

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①マニュアルの策定・改訂	関係機関と協議の上、災害等により企業団所有施設に被害が発生した場合の応援隊の受入れ体制の確立等を定めた受援マニュアルを令和3年度に策定している。
②事業継続計画の策定	平成31年4月の危機管理計画改定の際に「業務の継続」に関する項目を追加し、事業継続に関する計画を整備済みである。

○目標の達成状況

目 標		令和6年度の目標達成状況		
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
—	受援マニュアルの策定	策定済	策定済	目標達成
—	事業継続計画策定	策定済	策定済	目標達成

【方針(3)-③】 関係機関との連携の強化

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①受水団体との連携	・受水団体と合同で災害対策訓練（情報伝達訓練）を実施した。
②他団体との連携	・受援マニュアル策定に向け、関係機関と協議を進め、令和4年3月に受援マニュアルを策定している。
③送水施設応急復旧のための協定	・送水施設の応急復旧に関し、管工事業協同組合等と「災害時等における水道の応急復旧の応援に関する協定」を締結している。
④その他の協力体制	・緊急時に連携して水道水等の放射性物質濃度を把握できるよう、札幌市と「緊急時における放射性物質モニタリング協定」を締結しており、本協定に基づく平常値把握試験に参加した。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
—	受援マニュアル策定 (再掲)	策定済	策定済	目標達成

【方針(3)-④】 実効性のある訓練の継続的な実施

○取組状況及び評価

取組項目	令和6年度の取組等
①災害対策訓練の実施	・地震発生時の対応を想定した訓練を受水団体及び運転管理業務受託者と合同で実施するなど（受水団体とは情報伝達訓練、運転管理業務受託者とは実地訓練を実施。）、災害対策訓練を実施した。
②他事業体が開催する訓練への参加	・他の事業体が開催した訓練（公益社団法人日本水道協会北海道地方支部道央地区協議会主催）の災害時相互応援訓練に職員が参加し、対応能力の向上に努めた。

○目標の達成状況

目 標			令和6年度の目標達成状況	
業務指標番号	指標名	目標 (令和9年度)	令和6年度 実績	目標達成状況
B210	災害対策訓練実施回数 (企業団実施分)	1 [回/年]	2 [回/年]	計画どおり進捗

石狩西部広域水道企業団水道事業ビジョン 指標・実績一覧 (令和2年度～令和6年度)

方針	業務指標 番号	指標名	実績						R9年度目標		
			H29年度 【策定年度】	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
(1) 持続	①	B108	管路点検率	31.8%	31.9%	32.4%	25.0%	29.9%	15.1%	運転管理上の計画、「修繕・更新等計画」等に基づき確実に実施	
		B109	バルブ点検率	24.6%	65.6%	58.5%	51.8%	54.0%	42.8%		
		B117	設備点検実施率	84.8%	88.4%	89.1%	89.1%	89.1%	58.9%		
		B201	浄水場事故割合	0	0	0	0	0	0		0[件/10年・箇所]を維持
		B204	管路の事故割合	0	0	0	0	0	0		0[件/100km]を維持
	②	-	「経営戦略」の策定	未策定	策定済	策定済	策定済	策定済	策定済	策定済	
	③	B301	配水量1㎡当たり電力消費量	0.16	0.17	0.16	0.16	0.16	0.18	0.55[kWh/㎡]以下	
		B302	配水量1㎡当たり消費エネルギー	0.66	0.72	0.71	0.71	0.69	0.76	1.98[MJ/㎡]以下	
		B305	浄水発生土の有効利用率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	④	-	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地方公共団体実行計画」の策定	未策定	策定済	策定済	策定済	策定済	策定済	策定済	
		B305	浄水発生土の有効利用率(再掲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
⑤	C203	内部研修時間	5.4	11.8	18.4	14.7	13	9.6	10[時間/人]以上		
(2) 安全	①	-	上流域の状況確認 (関係機関への照会)	1	1	1	1	1	1	1[回/年]	
		A201	原水水質監視度	60	60	60	60	60	60	60項目	
	②	-	採水への立会い回数	1	1	1	1	1	1	1[回/年]以上	
		-	日常業務確認調査回数	1	1	1	1	1	1	1[回/年]	
	③	-	ピコプランクトン調査	12	12	11	12	12	12	完了	
		-	取水ゲート切替調査	19	24	29	20	19	19	完了	
		-	粒状活性炭性状調査	2	1	1	1	1	1	1[回/年]	
		-	「水安全計画」のレビュー	(H29末の計画策定のため、レビューを実施せず)	1	1	1	1	1	1回/年の実施	
-	水質基準不適合率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%を維持			
(3) 強靱	①	B606-2	基幹管路の耐震適合率	79.2%	79.2%	79.2%	79.2%	79.2%	83.0%	83.0%	
		B602	浄水施設の耐震化率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%を維持 (今後の整備分を含む)	
		B201	浄水場事故割合(再掲)	0	0	0	0	0	0	0[件/10年・箇所]を維持	
		B204	管路の事故割合(再掲)	0	0	0	0	0	0	0[件/100km]を維持	
	②	-	受援マニュアルの策定	未策定	未策定	策定	策定済	策定済	策定済	策定済	
		-	事業継続計画の策定	未策定	策定済	策定済	策定済	策定済	策定済	策定済	
	③	-	受援マニュアルの策定(再掲)	未策定	未策定	策定	策定済	策定済	策定済	策定済	
	④	B210	災害対策訓練実施回数(企業団実施分)	1	2	3	2	2	2	1[回/年]	

水道事業ガイドラインに基づく業務指標(PI) (令和6年度版)

【 安 全 : 安全で安心、そしておいしい水をいつでも供給できる水道 】

規格:(JWWA Q100):2016

参考

指標番号	業務指標名	指標の解説	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	当企業団の傾向	指標の望ましい方向
A201	原水水質監視度(項目) 原水水質監視項目数	水道事業者が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示すもので、水道事業者の水質管理水準を表します。	60	60	60	60	60	過去の水質調査において検出された項目の検査を実施しています。また、毎年、検査項目の見直しの検討を行っており、令和2年度からは、PFOS及びPF0A(1項目)を追加しています。	—

【 持 続 : 経営環境の変化に対応し、長期的に安定した水を供給できる水道 】

参考

指標番号	業務指標名 算出定義	指標の解説	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	当企業団の傾向	指標の望ましい方向
B106	負荷率(%) (一日平均送水量 / 一日最大送水量)×100	一日最大送水量に対する一日平均送水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表します。	87.1	88.9	90.9	90.4	90.5	負荷率は85%以上となり、ほぼ一定で推移しています。今後も施設の有効利用を進めていきます。	高い方が望ましい。
B108	管路点検率(%) (点検した管路延長 / 管路延長)×100	管路延長に対する1年間に点検した管路延長の割合を示すもので、管路の健全性確保のための点検の実施率を表します。	31.9	32.4	25.0	29.9	15.1	3カ年で全ての管路を点検する計画となっています。第2期創設事業完了に伴い、札幌市への送水管(約10km)を令和6年度から「管路延長」に追加したため、点検率が低下しました。	高い方が望ましい。
B109	バルブ点検率(%) (点検したバルブ数 / バルブ設置数)×100	バルブ設置数に対する1年間に点検したバルブ数の割合を示すもので、管路の健全性確保のための点検の実施率を表します。	65.6	58.5	51.8	54.0	42.8	バルブのうち空気弁は3カ年で全ての空気弁を点検する計画となっています。また、緊急遮断弁等の空気弁以外のバルブについては年1回点検を実施しています。第2期創設事業完了に伴い、新たに設置されたバルブ数を「バルブ設置数」に追加したため、点検率が低下しました。	高い方が望ましい。
B117	設備点検実施率(%) (点検機器数 / 機械・電気・計装機器の合計数)×100	機械・電気・計装設備の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保のための点検の実施率を表します。	88.4	89.1	89.1	89.1	58.9	事故・故障を未然に防ぐため、定期的に点検を実施しています。第2期創設事業完了に伴い、2系浄水処理施設に設置された機器を令和6年度から「機械・電気・計装機器の合計数」に追加したため、点検実施率は低下しました。	高い方が望ましい。
B301	送水量1m ³ 当たり電力消費量(kWh/m ³) 電力使用量の合計 / 年間送水量	送水量1m ³ 当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取組割合を表します。	0.17	0.16	0.16	0.16	0.18	ポンプ施設が比較的小規模であることから1m ³ 当たりの電力消費量は少ないと考えられます。	低い方が望ましい。
B302	送水量1m ³ 当たり消費エネルギー(MJ/m ³) エネルギー消費量 / 年間送水量	送水量1m ³ 当たりのエネルギー消費量を示すもので、省エネルギー対策への取組割合を表します。	0.72	0.71	0.71	0.69	0.76	ポンプ施設が比較的小規模であることから1m ³ 当たりのエネルギー消費量は少ないと考えられます。第2期創設事業に伴い、浄水場で試運転を行った結果、エネルギー消費量が増加しました。	低い方が望ましい。
B303	送水量1m ³ 当たり二酸化炭素排出量(g・CO ₂ /m ³) [総二酸化炭素(CO ₂)排出量 / 年間送水量]×10 ⁶	年間送水量に対する総二酸化炭素(CO ₂)排出量を示すもので、環境保全への取組割合を表します。	98.0	81.0	95.8	29.0	101.0	令和6年度は、二酸化炭素排出要因の中で大きな割合を占める電力において、二酸化炭素排出係数が高い電気事業者と契約したため、二酸化炭素排出量は増加しました。	低い方が望ましい。
B304	再生可能エネルギー利用率(%) (再生可能エネルギー設備の電力使用率 / 全施設の電力使用量)×100	電力使用量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取組割合を表します。	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	当企業団において、再生可能エネルギー設備による電力は使用していません。	高い方が望ましい。
B305	浄水発生土の有効利用率(%) (有効利用土量 / 浄水発生土量)×100	浄水発生土量に対する有効利用土量の割合を示すもので、環境保全への取組割合を表します。	100	100	100	100	100	浄水発生土の有効利用を行っています。	高い方が望ましい。

B306	建設副産物のリサイクル率(%) (リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量)×100	工事などで発生した建設副産物に対するリサイクルされた建設副産物量の割合を示すもので、環境保全への取組割合を表します。	99.9	100.0	100.0	99.9	100.0	令和2年度から第2期創設事業の工事を開始しており、工事によって発生したアスファルト・コンクリート塊や建設汚泥を、再生利用を行う処理業者に委託しています。	高い方が望ましい。
B501	法定耐用年数超過浄水施設率(%) (法定耐用年数を超えている浄水施設能力 / 全浄水施設能力)×100	全浄水施設に対する法定耐用年数を超えた施設の割合を示すもので、施設の老朽度及び更新の取組状況を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	法定耐用年数(60年)を超えた施設はありません。	低い方が望ましい。
B502	法定耐用年数超過設備率(%) (法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数 / 機械・電気・計装設備などの合計数)×100	設置されている機械・電気・計装設備に対する法定耐用年数を超えた機器の割合を示すもので、機器の老朽度、更新の取組状況を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	経年化年数を超えた電気・機械設備はありません。	低い方が望ましい。
B503	法定耐用年数超過管路率(%) (法定耐用年数を超えている管路延長 / 管路延長)×100	管路延長に対する法定耐用年数を超えている管路の割合を示すもので、管路の老朽化度、更新の取組状況を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	法定耐用年数(40年)を超えた管路はありません。	低い方が望ましい。
B504	管路の更新率(%) (更新された管路延長 / 管路延長)×100	管路延長に対する更新された管路の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の取組状況を表します。	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	耐用年数を迎えていないため、管路更新は行っていません。	—
B505	管路の更生率(%) (更生された管路延長 / 管路延長)×100	管路延長に対する更生(古い管の内面を補修すること)を行った管路の割合を示すもので、信頼性確保のための管路維持の取組状況を表します。	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	管路の更生については運用開始から間もないことから、必要がないため行っていません。	—
C203	内部研修時間(時間/人) (職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	職員1人当たりの内部研修受講時間数を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表します。	11.8	18.4	14.7	13.0	9.6	研修による職員の資質・技術向上に取り組んでいます。	高い方が望ましい。

【 強 靱 : 危機管理が徹底された災害に強い水道 】

参考

指標番号	業務指標名 算出定義	指標の解説	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	当企業団の傾向	指標の望ましい方向
B201	浄水場事故割合(件/10年・箇所) 10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数	直近10年間で浄水場が事故で停止した件数を一浄水場数当たりの割合として示すもので、施設の信頼性を表します。	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	直近10年間で、浄水場が停止するような事故は発生していません。	低い方が望ましい。
B204	管路の事故割合(件/100km) (管路の事故件数 / 管路延長)×100	1年間における導・送水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したもので、管路の健全性を表します。	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	過去5年間に於いて、管路が破損する等の事故は発生していません。	低い方が望ましい。
B210	災害対策訓練実施回数(回/年) 年間の災害対策訓練実施回数	1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表します。	2	3	2	2	2	令和6年度は、水源異常や浄水場事故を想定した取水停止訓練や、災害発生時を想定した初動訓練を行いました。	多い方が望ましい。
B602	浄水施設の耐震化率(%) (耐震対策の施された浄水施設能力 / 全浄水施設能力)×100	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表します。	100	100	100	100	100	耐震工法指針に準拠した耐震構造となっています。	高い方が望ましい。
B606-2	基幹管路の耐震適合率 (基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長 / 基幹管路延長)×100	基幹管路のうち、耐震適合性のある管を使用した管路の延長の合計。	79.2	79.2	79.2	79.2	83	布設当時は耐震基準を満たしていましたが、その後の基準の見直しにより非耐震性となった箇所があることから、基幹管路での耐震化率は約80%となっています。 第2期創設事業完了に伴い、札幌市への送水管(約10km)を令和6年度から「基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長」及び「基幹管路延長」に追加したため、耐震適合率は増加しました。	高い方が望ましい。